

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		平成14年度～			
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	根拠法令・規程等
	中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり	
	小項目	施策	11	道路	
事務事業名		08	協働による市道管理事業		問 担当課(室) 都市整備課 合 職・氏名 管理係長・岸本豊弘 先 電 話 0869-64-1833

事業の実施		
対 象 (誰・何に対して)	公共施設利用者	
目 的 (何のために)	地域住民や企業等の団体が市の支援の下に清掃美化活動等のボランティア活動を通して公共施設への愛着心を深めるとともに、公共施設利用者のマナー向上を図ることを目的とする。	
行政活動 (どのような方法で)	登録ボランティア団体による市道管理を含む道路、河川、海岸公園等の公共施設の清掃を行う。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	公共施設利用者の清掃意識やマナー向上を図る。	

事業の実績					
活 動	実 施 項 目	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	活動団体数	団体	28	37	48
	活動回数	回数	129	151	185
実 績	直 接 事 業 費	千円	996	1,314	1,567
	必 要 人 員	人	0.21人	0.12人	0.10人
	人 件 費	千円	2,073	932	572
	事 業 費 計	千円	3,069	2,246	2,139
	国 県 支 出 金	千円			
受 益 者 負 担	千円				
総 入 金	千円				
市 債	千円				
そ の 他 ()	千円				
一 般 財 源	千円	3,069	2,246	2,139	
受 益 者 負 担 比 率	%				

結果指標名		単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	結 果 指 標 量	説明 団体	28	37	
	対 前 年 比	%	-	132.1%	0.0%
	活 動 コ ス ト	円	3,069,000	2,246,000	
	単 位 当 た り コ ス ト	円	109,607	60,703	#DIV/0!
結果指標②	結 果 指 標 量	説明 -			
	対 前 年 比	%			
	活 動 コ ス ト	円			
	単 位 当 た り コ ス ト	円			

事業の成果					
平均活動回数	成 果 指 標 名	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	到達目標値	目標値 (A)	4	4	4
		実績値 (B)	5	4	4
		到達目標年度			
達成率 (B/A)		125.0%	100.0%	#DIV/0!	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
活動回数 (B) / 活動団体数 (A)					

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 ボランティア団体による市道等の草刈などの清掃活動を実施し、公共施設の美化が保たれている。
		市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 通常業者に草刈作業委託事業に比べると大幅にコストダウンできている。
		目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている

平成21年度の状況									
目標値	結果指標量①	平均活動回数	結果指標量②	成果指標量	4				
状 況	拡 充	現 状 継 続	見 直 し	縮 小	整 理 統 合	休 止	廃 止・完 了		
		○							
説 明	本年度においても団体数が増加しており、成果があるため引き続き行う必要がある。								

総合評価			
現在委託している草刈等の委託費を縮減するため、新規登録団体の増加していく必要がある。	評価区分 <A~E>		
		B	

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡 充	現 状 継 続	見 直 し	縮 小	整 理 統 合	休 止	廃 止・完 了
説 明	平成22年度以降も引き続き行う必要がある。						
改善がある場合	評価の視点	改 善 内 容	改 善 時 期	改 善 により 期待される 効果			
	有効性	広報誌等で募集、PRしていく。	募集時期	団体数の増加につなげ委託事業費の縮減を見込む			